

若鮎たより

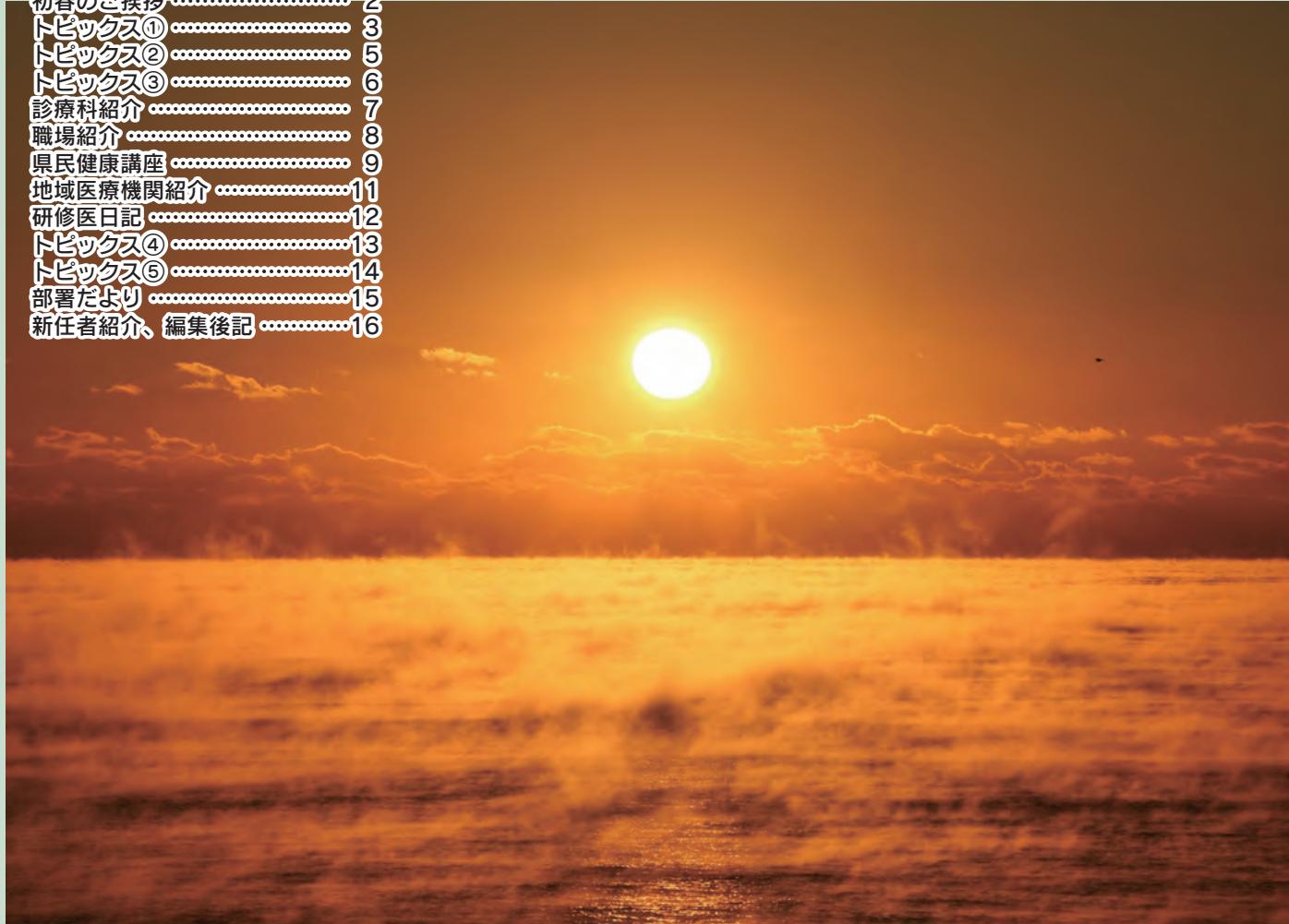
第72号

2026
冬号

ご自由にお持ち帰りください。

◇主な内容

年頭のご挨拶	1
初春のご挨拶	2
トピックス①	3
トピックス②	5
トピックス③	6
診療科紹介	7
職場紹介	8
県民健康講座	9
地域医療機関紹介	11
研修医日記	12
トピックス④	13
トピックス⑤	14
部署たより	15
新任者紹介、編集後記	16



方財海岸にて けあらし(気嵐) (事務部 中島功太郎さん撮影)



宮崎県立延岡病院

Miyazaki Prefectural NOBEOKA Hospital

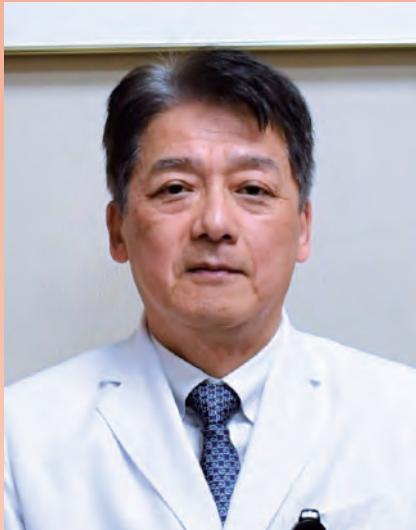
〒882-0835 延岡市新小路2丁目1-10

TEL 0982-32-6181

FAX 0982-32-6759

URL:<https://www.nobeoka-kenbyo.jp/>





年頭のご挨拶

院長 山口 哲朗

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は当院の運営に格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。本年も医療の質と安全の向上に努め、地域医療の中核病院としての役割を果たしてまいる所存です。

医療界では全国の病院の経営が悪化する中、当院も例外ではありません。当院が担っている地域の中核病院としての役割は高度急性期医療、災害時医療、ハイリスクな小児周産期医療などであり、多くは不採算医療です。しかし不採算と言っても撤退する訳にはいかず地域医療を支えるため人員の確保、医療機器の充実を必要とします。当然のことながら整備、維持には多大なコストがかかり赤字という現状は多くの公立病院にとって共通な問題となっています。全国の病院における医療の質、効率化を評価する「DPC機能評価係数Ⅱ」が昨年度に引き続き標準病院群において2年連続全国1位となっています。これも職員一丸となった病院運営の成果であり、「宮崎県北の地域医療を守る会」を始めとする県民の皆様、多くの医療機関、行政機関のご支援のたまものと重ねて感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返ると、全国で地震が相次ぎ、南海トラフ地震に対する体勢の強化がより重要となりました。当院でも災害時医療の提供体制をより強化してまいります。

地元のスポーツ界では、私の母校岡富中学校出身の琴恵光関の引退がありました。琴恵光が白星を上げた日には花火が上がります。この花火は羽黒岩（戸田）関（1961年初土俵1978年引退）の時代から続いています。昨年十両に昇進した日向丸は一月場所では幕下東二枚目になりましたが、多く白星をあげて伝統の花火を聞かせて欲しいものです。

近年、医療現場における暴力・ハラスメント対策の重要性が指摘されています。過労死等防止対策白書では、医療分野における労災認定事案や離職の原因などで、患者からの暴言・暴力やハラスメント、いわゆるペイシャントハラスメントによるストレスが要因と考えられる看護職員の精神障害の事案が多くあげられており対策が急務です。ペイシャントハラスメント対策として患者さんに具体的な事例を周知しご協力いただきたいと思います。患者さん本位の良質で安全な医療の提供のためには医療スタッフが安心して働ける環境づくりが必要です。皆さんのご支援、ご協力のほどどうかよろしくお願ひ申し上げます。

本年もご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。



初春のご挨拶

看護部長 小泉 さなえ

新年あけましておめでとうございます。みなさんへ新春のご挨拶を申し上げます。昨年は、以前から社会問題として取りざたされてきた「2025年問題」の年でした。医療従事者不足、医療費の増大などの懸念材料はこれからも尽きません。その一年を振り返りますと、初の女性首相の誕生、ドジャース2連覇に伴う日本人選手の活躍、クマや火災による被害や物価高騰などがあげられ、一方、医療に関する分野では、大阪大学の坂口志文特任教授がノーベル賞生理学・医学賞を受賞されたこともあり、驚きや感動、悲しみなどいろいろな感情とともに足早に過ぎ去った一年でした。

今年は午年（うまどし）です。午年は物事が大きく動き出す年とも言われ比較的縁起がよいとされています。「躍動」「前進」「力強さ」の象徴と言われているようです。私たち延岡病院看護部も、働きやすい職場づくりと看護の質向上を両立させるため、人材育成体制の充実、業務の効率化に取り組みます。新規採用者から経験豊富なベテランまで、誰もが学び続け、成長し、力を発揮できる環境を整えることが、より良い看護につながると思っています。これからも患者さんの安心と回復を支える大きな力となれるよう努めていきます。

また、今年は診療報酬の改定の年でもあります。全国的に公立病院の経営状況は厳しく当院にも同様のことがいえます。医療機関にとっては待ちに待った改定になりますが、どのような状況にあっても看護が必要とされていることに変わりはありません。私たちは日々の看護実践を通して、患者さんとご家族の思いに寄り添い、その人らしさを尊重し必要な支援を行っていきます。また、多職種との協働をさらに深め、地域医療を支える看護として一層推進していきます。

最後に、この一年がみなさんにとって、良い年でありますようお祈りいたします。

トピックス①

第23回こころほかほかコンサートが開催されました!

★ 令和7年12月6日(土)、当院2階講堂において『第23回こころほかほかコンサート』が開催されました。今年多くの患者さんが来られ、とても楽しんでいただけました。このイベントは平成13年度から始まり、音楽を通して皆様の心がほかほかと温まりますように!という願いを込めておこなっています。

今回は6組が出演されるなど、多くの方々がご協力してくださいました。

参加された患者さんからは、「病室から出て、こんなに楽しい時間を過ごせるなんて思っていませんでした。元気をもらいました、ありがとう。」「クリスマスの飾り付けも綺麗で、心癒されるコンサートでした。来年もぜひ開催してほしいです。」との声をいただきました。

当院一同、こころより感謝申し上げます。



旭化成合唱団



津野田音楽院 & 延岡少年少女合唱団



デコピン(院内スタッフバンド)

佛淵先生(小児科医師)

☆コンサートプログラム☆



1. 合唱

奏者：旭化成合唱団

合唱：クリスマスイブ・地上の星

2. バンド演奏

奏者：デコピン（院内スタッフ）

曲目：星にお願いを 他

3. 合唱・ハンドベル

奏者：津野田音楽院

合唱：あわてんぼうのサンタクロース 他

4. バンドネオン演奏

奏者：佛淵先生（小児科医師）

曲目：津軽海峡冬景色 他

5. 合唱

奏者：のべおか児童合唱団

曲目：線路はつづくよどこまでも 他

6. ピアノ演奏

奏者：大友 未夢さん

曲目：フランク／

〈プレリュード、コラールとフーガ〉より、フーガ



のべおか児童合唱団



大友 未夢さん



トピックス②

「ありがとうカレンダー」をいただきました!



令和7年12月8日(月)、「県北の地域医療を守る会」から、子どもたちが手作りした「ありがとうカレンダー」をご寄贈いただきました。

このカレンダーは、延岡市内の子どもたちが季節の風物詩を表現した消しゴムはんこで制作したもので、医療従事者への感謝の気持ちが込められた、心温まる作品となっています。

贈呈式は当院の講堂で行われ、カレンダーを制作した代表の小学生4名が来院してくださいました。子どもたちから、山口院長、小児科の保田先生、研修医の佐藤先生が、カレンダーと花束が手渡されました。

代表の小学生からは、「みんなの安心のためこれからもよろしくお願ひします」という温かい感謝の言葉をいただきました。

先生方からは、「県北の医療のために頑張りたいと思います」「手作りカレンダーが、日々の励みです」などと、お礼の言葉が伝えられました。

贈呈式の終了後、子どもたちは救命救急センターにてドクターカーを見学し、興味津々な様子でした。

いただいたカレンダーは当院の医師や研修医の皆さんへお渡しし、大切に活用させていただいております。この度は、心温まる素敵なお手本を贈呈いただき、心より感謝申し上げます。



トピックス③

地域医療機関との交流会 「連携の集い（医科・歯科）」を開催しました

県立延岡病院は、地域の医療機関と顔の見える関係をつくり、県北の医療をいっしょに支えていくため交流会「連携の集い」を開催しました。医科部門には63の医療機関、歯科部門には17の医療機関の皆さんにご参加いただきました。

当院から日ごろの診療や地域での取り組みを紹介した後、参加された医療機関のみなさまと活発な意見交換を行いました。地域連携や医科歯科連携の重要性について思いをひとつにするとともに、県北医療を支えるみなさまとの信頼が深まりました。今後も延岡病院は地域の医療機関の先生方と「顔の見える関係」を構築し、一人ひとりが安心して暮らせる医療をめざしてまいります。



令和7年7月29日(木)に開催し、当日は150名近くの医療関係者の皆さんにご出席いただきました。



令和7年11月21日(金)に開催し、当日は50名近くの医療関係者の皆さんにご出席いただきました。

診療科紹介

消化器内科



当科は今年度より消化器内科医2名、内科専攻医1名の3人体制で診療しております。

診療内容としては、消化器癌やポリープを含む腫瘍性病変（内視鏡治療、化学療法）、消化器症状を伴う感染症、消化管出血（吐血、下血）および急性腹症等、多岐にわたる消化器疾患の診療をおこなっています。当院消化器外科とも密に連携し、外科治療が必要な患者さまの紹介がスムーズに行えるように努めています。

なお、2017年度より肝臓内科が不在であり、肝疾患症例は原則受け入れをおこなっておりません。その他、小腸検査もおこなえないため、小腸出血や小腸腫瘍を疑う症例についても他の高次医療機関へご紹介いただいております。

ご迷惑をおかけすることも多いとは思いますが、消化管のことでお困りのことがありましたらお声かけください。よろしくお願ひいたします。

病理診断科



「的確な病理診断を通じて医師や患者さんのニーズに応えます」を理念に、臨床検査技師5名（うち細胞検査士2名）と業務を担当しています。生検や手術で採取された臓器の一部を肉眼的もしくは顕微鏡を用いて観察し、組織診断（最終診断）を行っています。良質な医療の提供には正確で素早い病理診断が必要不可欠と信じて、各診療科と連携して地域医療に貢献したいと考えています。

宮崎県で宮崎市以北には病理医は一人であることから負担軽減目的に一昨年バーチャルスライドシステムを導入し、宮崎大学との連携を考えたのですが、まだ稼働には至っておらず体制整備が待たれる状態です。近年医療のデジタル化が全国でも推進されているので、この県北でも対応できたらと願っています。人手不足のため、病理外来を開く予定はありませんが、個別に病理診断への疑問や不安に対し、対応していきたいと思います。よろしくお願ひします。

職場紹介



集中治療センター（ICU）は3階にあり、手術室に隣接しています。同フロアにはHCUもあります。集中治療センターの病床数は4床で、スタッフはセンター長1名、看護師21名です。日中は患者さん1名に対し看護師1名、夜間は患者さん4名に対し看護師3名の体制で看護をおこなっています。患者さんは心臓血管外科、呼吸器外科、循環器内科、救急科、産婦人科、泌尿器科など、さまざまな診療科の方が入室します。私たちは、患者さんの早期社会復帰を目指し、医師、看護師、臨床工学技士、管理栄養士、入退院支援職員、リハビリスタッフなど多職種で連携して、治療や看護ケアをおこなっています。

集中治療センターは一般病棟とは違い、機器類が多く特殊な環境になりますが、患者さんとそのご家族の方の心に寄り添い、安心して療養できる環境を提供できるように皆で取り組んでいます。よろしくお願ひ致します。

ベッドセンター



ベッドセンターの業務内容を紹介させていただきます。主に3つの業務になります。

初めにベッドの洗浄業務になります。洗浄の方法としましては、アルコールペーパーを使用しての手拭き作業で、ベッドのほこりや汚れを落とします。修理箇所があるときには、簡易的な修理をおこないます。各病棟のベッドの洗浄は毎日おこない、外来のベッドの洗浄は半年に1回のペースで洗浄をおこなっています。

次にベッドメイキング業務です。各フロアの当直室や外来、洗浄後のベッドのシーツ交換をおこなっています。場所やマットレスの種類によってメイキングの仕方が異なります。患者さん、先生、看護師さんが利用される所なのできれいに丁寧にメイキングするよう心がけています。

最後に看護師宿舎へのシーツと布団の搬入業務です。県病院から少し離れたところにあるので、カートで持っていき作業しています。

以上がベッドセンターの業務内容になります。

県民健康講座

子宮体がんについて

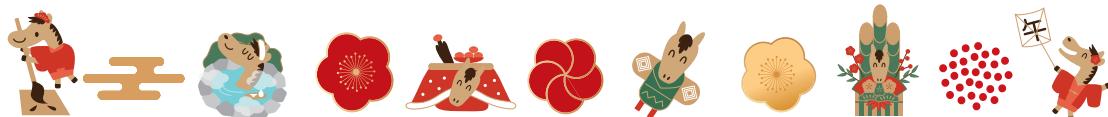


おおつか
産婦人科主任部長
大塚 てるお
(県立延岡病院講堂 2025.10.15)

子宮は、妊娠したときに胎児を育てる場所になる子宮体部と、出産のときに産道の一部になる子宮頸部とに分けられます。このうち子宮体部に発生するがんが子宮体がんです。子宮体部の内側にある子宮内膜は、卵巣から分泌される卵胞ホルモン（エストロゲン）の影響をうけて発育し、剥がれると月経血になります。子宮体がんのほとんどが子宮内膜から発生しますので、子宮内膜がんともよばれます。日本では年間18,000人の女性が子宮体がんになり、約2,900人が亡くなっています。婦人科のがんで最も多いのが子宮体がんで、年々増加しています。

子宮体がんで最も多い自覚症状は、不正性器出血です。子宮体がんにかかりやすい年代は子宮頸がんと比べて高齢なことが多いので、更年期や閉経後に不正出血を認めた場合は婦人科を受診してください。治療は手術療法が中心ですが、手術でがんの病巣を完全に摘出するのが困難な場合、術後の再発リスクが高い場合には、抗がん剤療法、放射線療法などが行われます。最近は免疫チェックポイント阻害剤、分子標的薬といった新たな治療選択肢もあり、治療成績は向上しています。

子宮体がんは婦人科がんの中で最も多く、近年、増えていますが、治りにくいタイプのがんではありません。病気が子宮にとどまっているれば、80%以上の方が治癒します。不正性器出血という初発症状を見逃さないこと、すなわち、早期発見・早期治療が重要です。もし気になる症状があれば、お近くの産婦人科へご相談ください。



県民健康講座

脳梗塞を予防するための心臓手術



にしむら まさのり
心臓血管外科部長 西村 征憲
(県立延岡病院講堂 2025.12.17)

日本の高齢化に伴い、心房細動という不整脈の有病率が上昇し80歳以上の人口では約10%に至ると言われています。心房細動を生じると動悸という自覚症状を生じたり、長期間持続する事で心不全の原因となったり、心内血栓を形成し脳梗塞の原因となります。心房細動自体は致死的な不整脈ではありませんが、心房細動で引き起こされる心不全や脳梗塞が死亡の原因となりえるため適応があれば治療の対象となります。

心房細動に伴う血栓塞栓症の発生母地は90%が左心耳に発生すると言われ、近年心房細動に伴う血栓塞栓症予防の観点から左心耳をどのように管理するかが重要視されてきています。心房細動に伴う血栓塞栓症の予防治療としては抗凝固薬内服（D O A Cやワーファリン）による治療と、カテーテル治療（ウォッチマン）および開胸手術がありますが、左心耳を完全に切除できるのは開胸手術のみでした。開胸手術は胸部を大きく切開し行うため体への負担が大きいですが、近年開発されたウルフ-オオツカ手術は内視鏡下に手術を行うことで、小さな傷（1 cmほど）を4-5か所設けることで体への負担を少なくした上で左心耳を切除もしくは閉鎖する事が可能な治療です。また、治療の適応があれば同時に不整脈の治療も可能です。ウルフ-オオツカ手術の最も大きな利点は、手術後数か月で抗凝固薬を中止することができる点です。カテーテルアブレーション治療で心房細動が治癒しても、多くの患者さんは治療後も抗凝固薬を継続する必要があります。また、カテーテルでの左心耳閉塞を行うウォッチマン治療後は抗血小板薬内服が必要となるため、出血傾向（下血や吐血）があり抗凝固薬の継続が難しい患者さんや、障害の抗凝固薬を希望されない患者さんにとってウルフ-オオツカ手術は非常に魅力的な治療となります。

ウルフ-オオツカ手術にご興味のある患者さんは、かかりつけ医の先生にご相談していただき当科を受診してください。

地域医療機関紹介

こどもクリニックたしろ

1999年3月に日向市原町に開院しました。開業時からの理念は来院された患者さん一人ひとりを丁寧に大切に診るというものでした。

かかりつけの患者さんが多くなりすぎると一人ひとりに手間と時間をかけられないというジレンマもあり、多くなりすぎないように調整しながら丁寧にを大切にしています。

当院が開業して日向市に最も貢献できたのが予防接種の接種率を上げたことだと自負しています。開業して間がないころ百日咳で無呼吸～呼吸停止をきたして救急搬送した乳児早期のこどもが2名(1人は気管内挿管した)いました。細菌性髄膜炎も4名、細菌性肺炎は数えきれないくらいいました。そのような経験からこども達を守るために病気になってからの治療では限界があり重病にならないための予防が大事だと考え感冒等で受診された患者さんにも予防接種を強く勧めました。

現在、日本中の病院で医療制度の改変や少子化等で経営が困難になっています。県北の小児科が経営破綻をきたさないために特別の事情がなければ定期予防接種は是非かかりつけ小児科ですることをお願いします。



外観



受付

住所：宮崎県日向市原町4丁目58-4 TEL：0982-56-1515

くもん整形外科 スポーツ・骨関節クリニック

当院は、延岡市の南に位置する海岸近くの小高い緑が丘で2019年5月に開院いたしました。月曜日～木曜日はPM6：30まで受け付けをしており、仕事終わりの人や夕方のスポーツ活動などでケガをした患者様にもできる限り対応できるような診療時間としております。

当院の特徴としてはかなり広いリハビリテーション室を有しております。リハビリスタッフは6名おり、明るく開放的で、かつプライバシーにも配慮したリハビリ環境を整え、患者様が安心して前向きに治療に取り組めるよう努めております。

また厚労省からの再生医療等提供施設（第二種：関節内 第三種：関節外）の認可をうけ変形性関節症などの関節疾患やスポーツ外傷におけるPRP（自家多血小板血漿）による治療も行っております。かつ手術が必要な変形性関節症の患者様には提携先の病院（岡村病院）にて人工関節手術も行っております。

さらに全身用骨密度測定器（DXA）を備えており、骨折予防を最重要の目的とした積極的な骨粗鬆症治療にも注力しております。

今後も貴院の先生方と連携しながら、地域の方々が「痛みなく動ける日常」を送れるよう、丁寧で温かい診療を心がけて参ります。宜しくお願い申し上げます。



リハビリテーション室

住所：宮崎県延岡市緑ヶ丘2丁目8-11 TEL：0982-20-7772

研修医日記

1年次 緒方天勇

県立延岡病院1年目研修医の緒方天勇です。地元延岡で医師としての第一歩を踏み出せてとてもうれしく思います。

運動が大好きで、これまでの人生はスポーツを中心とした健康的な生活を送っていました。最近は大学の友達と通話しながらゲームばかりする今日この頃です。しかもパソコンを使った競技性のあるゲームばかりしているのでなかなか同期には話通じません。（同期はみんな仲良しです。）僕は何でも真剣にやってしまう派なので、日々の研修は当たり前として、ゲームでも日本上位の方にランクインするように頭をフル回転させ頑張っていました。時間の無駄だろという人もたくさんいると思いますが、趣味なのでそこはご勘弁ください。半年頑張りようやく目標を達成し、とてもうれしかったのですが、目標を失った喪失感の方が意外と強くてつらいです。今度は釣りでも始めてみようかと思っています。

日々の研修でも毎日目標をもち、達成に向けて真剣に取り組んでいきます。



1年次 坂本康平

県立延岡病院研修医1年目の坂本康平と申します。

私は宮崎市出身で、小・中・高・大のすべてを宮崎市内で過ごしてきました。延岡には縁もゆかりもありませんでしたが、研修医の同期や先輩方、先生方、そして看護師の皆様のおかげで、毎日が充実した学びと温かい思い出で満たされています。

趣味はゴルフで、週末は家族とコースに出ることが何よりの楽しみです。ベストスコアは78ですが、最近は伸び悩みを感じており、そろそろ限界かもしれない苦笑いする日々です。

約半年間の研修生活を振り返ると、右も左も分からなかった頃と比べて、自分でも驚くほど成長を実感しています。これも日々熱心にご指導くださる先生方や看護師の皆様のおかげです。慢心することなく、これからも一日一日を大切にしながら研修に励んでいきたいと思います。残りの約1年半もよろしくお願ひ致します。



トピックス④

消火・避難訓練が実施されました

2025年10月17日、24日に消火訓練が実施されました。この訓練は、火災発生時の迅速な対応と、患者の安全確保を目的としています。

訓練では、まず避難経路の確認が行われ、従業員は各フロアの非常口や避難ルートを再確認しました。これにより、非常時に冷静に行動できる体制を整えました。また、患者誘導の重要性についても強調され、参加者は患者を安全に誘導する方法を学びました。

消火器の取り扱いについても実践が行われ、参加者は消火器の使用方法や、どのような火災に対して効果的であるかを確認しました。さらに、消防ホースの訓練も実施され、実際のホースを使って放水の流れや圧力を体験しました。この実習を通じて、緊急時に必要な技術を身につけることができました。

今後も定期的な訓練を通じて、全職員が一丸となり、万全の対策を講じることが求められます。これによって、患者とスタッフの安全を守る体制が強化されることでしょう。



避難経路の説明・確認の様子



防火扉作動確認の様子



火元を探し、消火器で消火する訓練



患者を搬送する訓練



消火器の使い方訓練



病院内ホースの使い方訓練

トピックス⑤

トレーニング研修会

10月中旬、延岡病院で研修中の研修医15名が医療トレーニングセンターで、IVR治療（カテーテルや内視鏡を使った体にやさしい治療）の基礎研修を行いました。

人体モデルを使い、心筋梗塞の実際の治療にならって心臓内の血管にカテーテルを挿入して狭い血管を広げる手技や、胆管の腫瘍や結石で閉塞した部位に対して内視鏡を用いて狭くなった胆管内へステントを留置するなど、実践に近い内容で訓練を行いました。カテーテルや内視鏡の操作は、初めは慣れない様子も見られましたが、指導を受けつつ短時間で要領をつかみ、ぐんと上達していました。

院内での臨床研修とはひと味違う面白さに夢中になり、時間を忘れて器具操作に取り組む姿が印象的でした。これから将来を担う優れた医師が育つことを期待しています。



E R C P (胆管内にステントを挿入する手技)



P C I (狭い血管を広げる手技)



カテーテル治療を練習するキット



狭い血管を広げるシミュレーター



血管内の詰まりを削る手技



集合写真

感染管理科だより

みなさんこんにちは。寒い冬を迎えておりますが、いかがお過ごしでしょうか？今回は医療の現場だけではなく、皆さんの生活にも影響がある薬剤耐性菌について話をしたいと思います。

1. 医療現場での耐性菌の増加

現在、多くの国で抗菌薬の効かない薬剤耐性菌の増加が問題となっています。薬剤耐性菌が健康な人に影響を及ぼすことは多くありませんが、免疫が低下した方や高齢者がこれによる感染症を発症すると、治療薬が限られるため、しばしば治療が難航します。なかには抗菌薬がまったく効かない菌もあり、発症しても治療手段がなく亡くなる場合もあります。薬剤耐性菌を作らないこと、感染しないこと、感染したときに周りに広めないこと、薬剤耐性菌と戦える抗菌薬を残しておくことは私たちの大切な使命なのです。



〈私達にできること〉

1. 風邪に抗菌薬は効きません！

風邪は、ウイルスが鼻や喉に炎症を起こし、咳、痰、喉の痛み、発熱などを引き起こします。この風邪の原因はウイルスであり細菌ではありません。風邪を治すのは自分の免疫力であり、お薬ではありません。風邪薬は、風邪のつらい症状を和らげるためのもので、原因のウイルスをやっつける薬ではないのです。抗菌薬は、文字通り、細菌と戦う薬です。細菌とウイルスは全く別の病原体ですから、抗菌薬はウイルスには効きません。ウイルスによって起こる風邪には、抗菌薬を飲んでも意味がないのです。

2. 処方された抗菌薬は医師の指示通り服用しましょう

抗菌薬は、細菌による感染症に処方されます。一口に抗菌薬と言ってもいろいろあります。細菌にはいろいろな種類があり、それぞれの細菌の治療に必要な抗菌薬は異なります。そしてその飲み方もさまざまです。1日に1回飲む薬もあれば、1日に4回飲む薬もあります。1日4回飲む抗菌薬は、1日4回きちんと飲まなければ十分な効果を期待できません。1日4回飲む抗菌薬を、1日1回だけ飲んでもだめです。また、抗菌薬はそれに合わせて処方されます。年齢、体格、腎臓や肝臓の機能を考慮して、あなたにちょうどよい量に調整されます。だからこそ、処方された飲み方を守ることは、病気を確実に治すため、抗菌薬による副作用を減らすため、とても重要なのです。

3. 基本的な感染対策をしましょう 予防がやっぱり大切「手洗い・ワクチン」

私達が感染する病原体（細菌やウイルス）の多くは、まずは私達の手に付着します。その手で鼻や口などに触れると、その病原体が体内に侵入し、感染が成立します。また、私達が病原体のついた手で様々な物に触れ、周りの人がそれらに触れることで、感染が拡がります。私達の手は、様々な感染症を運びます。手を洗うことで、手についた病原体があなたの体に侵入するのを防ぐだけでなく、周りの人に感染を拡げることも防ぎます。手洗いは、日々の生活の中でできる、有効な感染対策です。また、感染症にはワクチンで予防できるものがたくさんあります。ワクチンをうつと、体はその病原体に対して免疫を獲得します。そうすると、その病原体が体に侵入しても、病気にならない、または病気になっても症状が軽くすむようになるのです。予防できる感染症は、予防するのが一番です。

引用：AMR 臨床リファレンスセンターHP
文責：感染管理科 中武

新任者紹介

新しいスタッフを
ご紹介いたします。



救命救急科 副医長

おしかた しん
押方 真
(令和8年1月着任)

医師10年目になりますが、総合診療プログラムとして救命救急科にお世話になります。何でもしますので、お申し付けください。

編集後記

〈編集長 呼吸器外科 主任部長 能勢直弘〉



顧客などから店員等への暴行や暴言、不当な要求などをカスタマーハラスメント(略して「カスハラ」とい)い、病院では患者さんから病院職員へのカスハラをペイシェントハラスメントといいます。

近年カスハラが社会問題化し、令和7年6月の法改正で、病院を含む企業等にカスハラ防止措置が義務づけられることとなりました。

そこで当院ではカスハラ禁止を呼びかけるポスター公募を行い、写真のものを含む7作品が採用となりました。

今後当院内にこれらのポスターが掲示されます。患者さんにおかれましては病院職員に対する暴言暴力、無理な要求は絶対におやめいただき、ペイシェントハラスメント防止にご協力くださいよう、よろしくお願ひします。

宮崎県立延岡病院 外来診療・病棟案内

● 外来診療については、かかりつけ医の紹介状と病院・診療所からの事前予約が必要です。 令和8年1月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金	特殊診察等
内科	(新患) 呼吸器 (再診)	濱田	味志	-	川上	秋原	気管支鏡検査………水・金(午後) 腹膜透析外来………火・木 上部消化管内視鏡………火・水・木(午前) 下部消化管内視鏡………火・木(午後) 腎内手術………火(午後)
	(再診)	味志・川上	秋原・濱田	山口 川上・秋原	秋原・濱田	味志・川上	
	血液	外山	外山	外山	外山	外山(再診)	
	消化器 (新患) (再診)	小川・黒木(利) 市成	- -	- -	- -	市成・黒木(利) 小川	
腎臓	-			西園	-	宮田	
呼吸器外科		能勢 河野 黒木(将)	能勢 河野 黒木(将)	能勢 河野 黒木(将)	石躍	手術…月、火(第4)、木(第1・第3・第5)、金 気管支鏡検査………水・金(午後)	
外科・消化器外科		土居 石躍	土居 本田	山根 本田			
乳腺外科	-	-	-	大友	-	非常勤医師(県立宮崎病院 乳腺外科専門医)	
心臓血管センター	心臓血管外科		西村	西村	西村	手術………月、火、木	
	循環器内科	森	黒木(-)	(不整脈外来) 伊藤	山本(辰)	村田	手術・検査………月～金 心臓カテーテル………月～金(9時30分～) ペースメーカー外来………月・水・金(午後)
整形外科		鯫島 小菌 座間味 川越	栗原 小菌 座間味 川越	栗原 小菌 座間味 川越	手術………月、水、金 こども療育センター外来(脳神経外科にて診察) ………金(第3)		
歯科口腔外科		山本(哲) 白水 相川	山本(哲) 白水 相川	山本(哲) 白水 相川		手術………月、木(午後)	
産婦人科 周産期科	山内	都築 (午後)	都築	安永 (午後)	第2・第4 安永	手術………火、木 宮崎大学非常勤医師………金(第1・第3・第5)	
	大塚(午前)		大塚(午前)			※都築Dr. 診察………火(午後)	
	村上(午後)		安永(午後)			※安永Dr. 診察………木(午後)	
耳鼻咽喉科	猿渡	猿渡		猿渡	猿渡	手術………水 休診日………金(第1・第3) 難聴外来………月 嚥下外来(院内コンサルトのみ)………火・金(午後)	
小児科	二見	海老原	保田	岩井	佛淵	予防接種(指定患者のみ)………月(午後) 慢性疾患………火・水(午後) 乳児検診・フォローアップ外来………木(午後) 8月～3月 シナジス	
	保田	二見	岩井	佛淵	海老原		
脳神経センター	脳神経外 科	柴田 徳田	西川 徳田	柴田 西川	手術………火、木 血管造影………月・水(午後)	手術………火、木 血管造影………月・水(午後)	
	皮膚科	後田 西原					
泌尿器科		山下 鬼塚 永井 小迫	山下 鬼塚 永井 小迫	山下 鬼塚 永井 小迫	鬼塚／永井	手術………水、金	
総合診療科		松田 石坂					
		茂田					
		石坂					

※緊急以外の新患の受付は、午前11時00分までです。

※精神科・脳神経内科は現在休診となっております。

病棟フロア

	西側	東側
7階	リハビリテーションセンター	呼吸器センター(呼吸器内科、呼吸器外科)、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科
6階	整形外科	消化器センター(消化器内科、消化器外科)、外科、泌尿器科
5階	心臓血管センター(循環器内科、心臓血管外科)、腎臓内科、人工透析室	血液内科
4階	女性病棟(産婦人科、内科、乳腺外科)、循環器内科	小児病棟、周産期センター(NICU・GCU)、消化器内科、循環器内科、皮膚科、外科
3階	集中治療センター(ICU) HCU、手術センター	脳神経センター(脳神経外科、神経内科)、救命救急科、総合診療科

★院内セキュリティ強化について★ (お知らせとお願い)

不審者等による院内への侵入を防止するため、夜間(18時から翌朝8時)や土日祝日(年末年始を含む終日)においては、院内への入口を南側救命救急センター横の夜間・時間外入口(警備員室前)1箇所のみとさせていただきます。



健康増進法第25条の定めにより、要動脈硬化症防止のため、敷地内の喫煙を禁止します。

広報委員会からの お知らせ

広報誌へのご意見・お問い合わせにつきましては院内のご意見箱、FAX0982-32-6759 または <https://www.nobeoka-kenbyo.jp/> まで!